

津市は合併20周年

平成18年1月1日、平成の大合併といわれる中でも、津市・久居市・河芸町・芸濃町・美里村・安濃町・香良洲町・一志町・白山町・美杉村の10市町村による大きな合併で、「津市」が誕生しました。令和8年1月に合併20周年を迎えることを記念し、6月号から7回にわたりカテゴリ別に20年の歩みを振り返っています。

津市合併20年の歩み Vol.5

市民の健やかな暮らしに向けて 健康福祉の取り組み

津市では、市内11カ所に津市地域包括支援センターを整備し、地域包括ケアシステムの推進・深化に取り組んできました。特別養護老人ホームなど17施設の整備により、新たに941人分の定員を確保するなど介護施設サービスの充実を図っています。

さらに、津市オリジナルの交通系ICカード「シルバーエミカ(ポイント付き乗車カード)」を導入し、高齢者の外出支援も進めてきました。

低所得者への支援としては、生活困窮者、就労支援、ひきこもりなどの相談窓口を新たに設置し相談体制を強化。障がい者への支援においては、障がい者相談支援センターを開設するとともに、障がい福祉サービス事業所6施設を民営化し、より質の高いサービスの提供を目指

してきました。

医療分野では、医療機関の協力により二次救急輪番体制を強化することに加え、「津市こども応急クリニック・休日デンタルクリニック」や「津市応急クリニック」の開設など医療インフラを整備し、救急医療の充実に力を注いできました。

また、子どもや妊産婦、不妊治療への医療費助成の拡大、がん検診等の実施期間の延長にも取り組んでいます。

コロナ禍における感染症対策では、ワクチン接種体制をはじめ、市民の健康を守るための施策を徹底しました。

これからも、市民や民間団体等と課題を共有しながら支え合い、誰もが健やかに安心して暮らせる地域社会の実現に向けて歩を進めていきます。

※文中・年表の数字は全て令和7年3月末現在

2021



新型コロナワクチン接種



家庭医療クリニック



応急クリニック



在宅療養支援センター

2017

2025



むくの木ワーク



たるみ作業所



はぐさんホーム



コスモス作業所



はぐさん作業所



まつぼっくり作業所

民営化した障がい福祉サービス事業所

令和7 2025	令和6 2024	令和5 2023	令和4 2022	令和3 2021	令和2 2020	平成31 2019	平成30 2018	平成29 2017	平成28 2016	平成27 2015	平成26 2014	平成25 2013	平成24 2012	平成23 2011	平成21 2009	平成19 2007	平成18 2006
-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------

平成18年1月1日 新津市誕生

- 地域包括支援センターを開設(11カ所)
- 三重病院敷地内に休日応急・夜間こども応急クリニックを移転

- 健康づくり計画を策定
- 夜間成人応急診療所を開設

- 障がい者相談支援センターを開設

- 救急・健康相談ダイヤル24を開始

- 小学生の通院分の医療費助成を拡充

- がん検診の実施期間を拡大

- 産後ケア事業を開始

- 生活困窮者の相談窓口を設置

- 中学生の通院分の医療費助成を開始

- 応急クリニックを開設

- 家庭医療クリニックを開設

- 在宅療養支援センターを開設

- 高齢者外出支援のためのシルバーエミカを導入(コミュニケーションバスを無料化)

- 精神障害者保健福祉手帳2級所持者の通院費の医療費助成を開始

- 未就学児の福祉医療費を窓口無料化

- 自殺対策計画を策定

- 生活福祉・自立支援応援包括支援窓口を設置

- 高齢者のフレイル対策の強化

- 新型コロナウイルス感染症が拡大
感染症対策として病院等への支援を実施

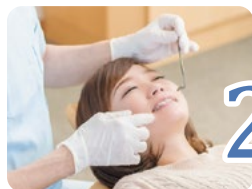
- 新型コロナウイルスワクチンの
特例臨時接種のための接種体制を構築
無料の産婦健康診査を開始

- 新型コロナウイルス対策として非課税世帯等への給付金などの生活支援を実施
- 物価高騰対策として高齢者・障がい者福祉施設、医療機関等への支援を実施
- 特定不妊治療費の助成を開始
- 物価高騰対策として非課税世帯等へ給付金による生活支援を実施

- 新生児聴覚スクリーニング検査費用助成を開始

- 1か月児無料健康診査を開始
- 三重大学医学部附属病院の全曜日への参画により二次救急輪番体制を強化
- 子どもと妊産婦の医療費助成の所得制限を撤廃し、中学生まで窓口無料化
- 妊婦歯科無料健康診査を開始
- 障がい福祉サービス事業所6施設を民営化

2024



妊婦歯科健康診査

2020



フレイル対策のための出前健康講座(左)と個別支援(右)

2014



産後ケア事業

2009



障がい者相談支援センター

2007



健康づくり計画